

大 津 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和6年2月19日（月）午後1時30分～午後3時30分	
開催場所	大津警察署 5階大会議室	
出席者	委員	川上昌道会長、瀧千鶴副会長、石田展弥委員、小原めぐみ委員、上下重征委員、藤井典史委員、上野康代委員、中尾文委員、上田敏子委員、北林大尚委員
	警察	竹谷署長、安田副署長、森野会計官、中井地域官、宮脇刑事官、中島交通官、馬場添調査官（警務課長）、高岡交通第一課長、横井交通第二課長
議事概要	<p>【警察署協議会】</p> <p>1 署長挨拶</p> <p>署長から、「当署の刑法犯認知件数については、昨年末から前年に比べて減少傾向にある。継続して減少させるよう取組を強化している。本日の議題である交通安全対策関係については、忌憚のない意見をいただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>会長から、「私の若い頃には年間1万人の交通事故死亡者が出て、交通戦争と言われた。現在、交通事故死亡者は減少しているものの、交通死亡事故は無くならない。本会議で、少しでも交通事故死亡者が減少するよう提言していく。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 交通安全対策等の取組状況について</p> <p>警察から交通事故発生状況、違反取締りの状況及び交通安全対策の取組状況についての説明がなされた後、参加・体験型の交通安全教室「危険予測トレーニング」を体験した。</p> <p>その際、委員から、「大津署の危険予測トレーニングは、年間何回くらい行っているのか。」「横断歩行者妨害が少なくなったと感じているが、実際はどうか。」旨の質問がなされ、警察から、「令和4年度は7回、令和5年度は15回実施した。」「JAFの調査によると、滋賀県の横断歩道における車両停止率は本年度初めて全国平均を上回った。」旨の説明がなされた。</p>	

また、委員から、「学校周辺では時速 30 キロメートル制限などの交通規制を強化してほしい。」旨の要望がなされ、警察から、「地元住民の意向が重要となるので、自治会等で要望をまとめて警察に相談してほしい。」旨の説明がなされた。

そのほか、委員から、「県道高島大津線の浜大津から尾花川の中央線が固定された経緯と今後の見通しを教えてほしい。」旨の質問がなされ、警察から、「中央線の固定は本年 1 月 23 日から開始した。道路幅が狭い区間で車両を安全かつスムーズに通行させるための中央線変移の運用は、長年の懸案事項であった。現在は交通量調査を行い、試行実施中である。渋滞等の状況を検証し、今後の方針を決定することになる。」旨の説明がなされた。

(2) その他

委員から、「滋賀県警察ではどのような採用活動を行っているのか。」旨の質問がなされ、警察から、「警察学校卒業後間もない職員を中心にリクルーターを指定し、後輩や各大学への勧誘活動や、個別に採用説明会を行っている。」旨の説明がなされた。